

レセプトチェッカー-FUGA Ver. 1.3.0 S68 (build016) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカー-FUGA安定版Ver. 1.3.0 S68導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカー-FUGAをご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://receipt-checker.jp/downloadpage/> でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカー-FUGA S68インストーラを利用される場合は、インストーラをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

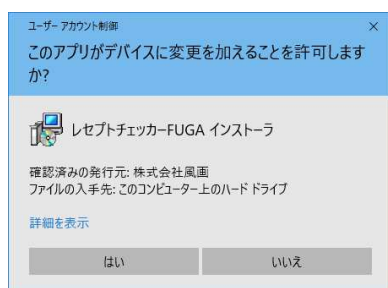
【手動更新】

(1) 下記サイトより、S68 インストーラ Setup.exe をダウンロードします。

レセプトチェッカー-FUGA 安定版のダウンロードサイト

<http://receipt-checker.jp/downloadpage/>

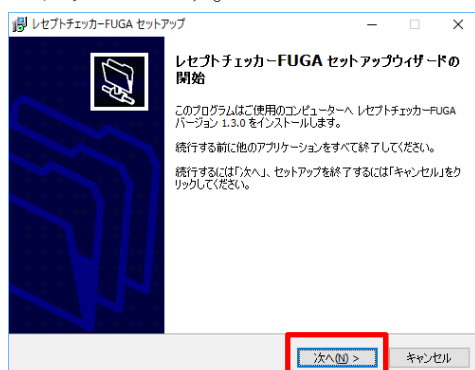
(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。



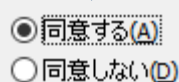
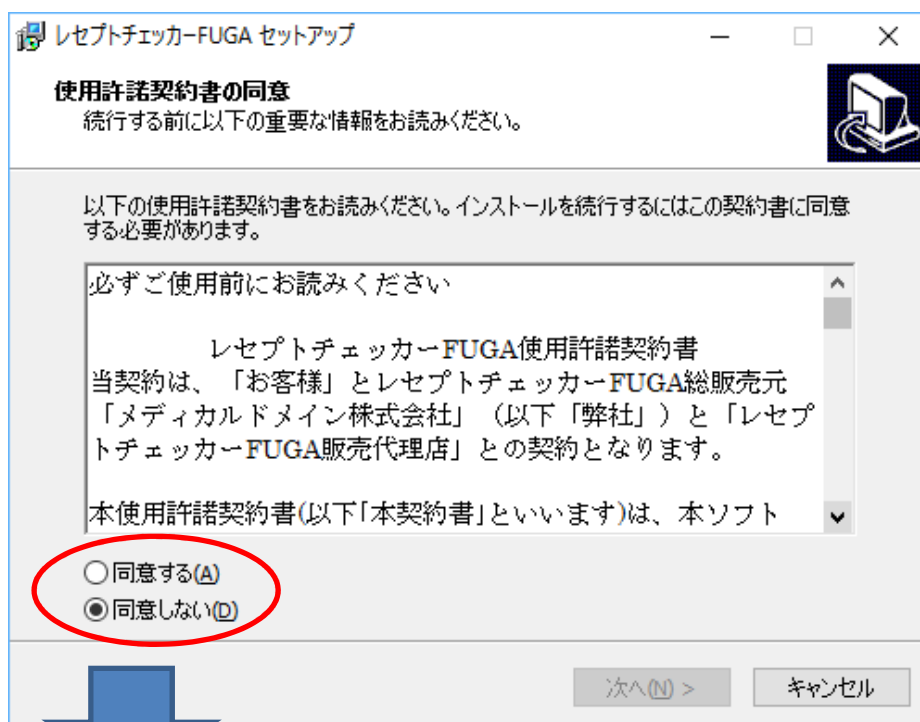
上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

「レセプトチェッカー-FUGA セットアップウィザードの開始」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

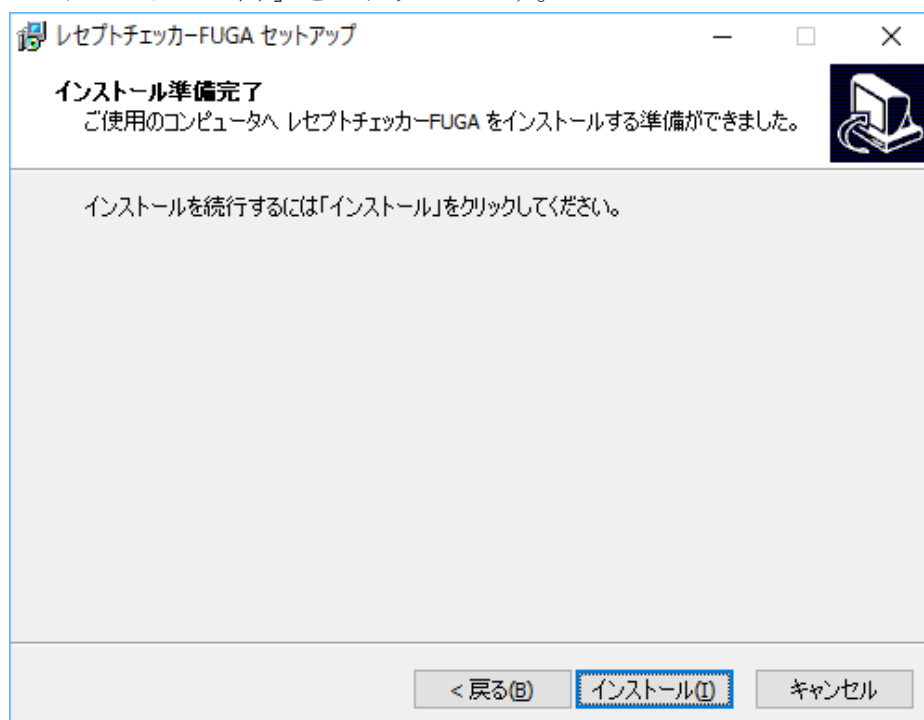


使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。

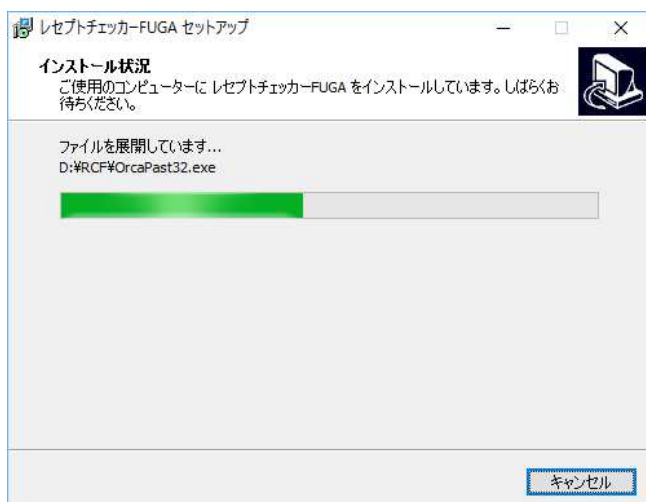


「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

「インストール(I)」をクリックします。



「インストール状況」が表示されます。



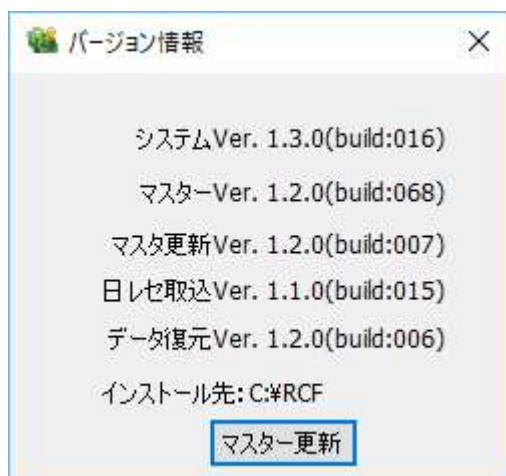
「レセプトチェッカー-FUGA セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックして終了です。



(3) システムバージョンは Ver. 1.3.0(build:016)になっております。



- (4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.3.0(build:016)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。

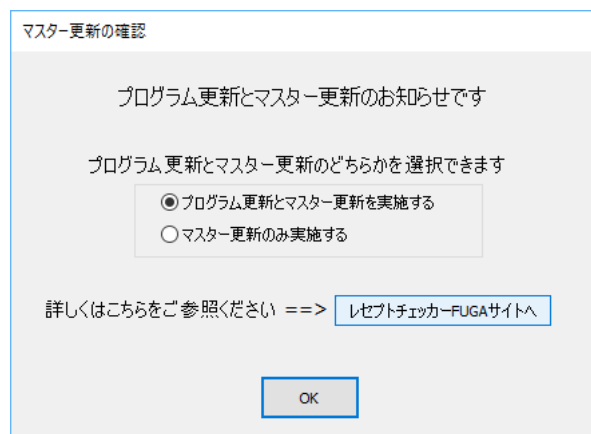


【自動更新】

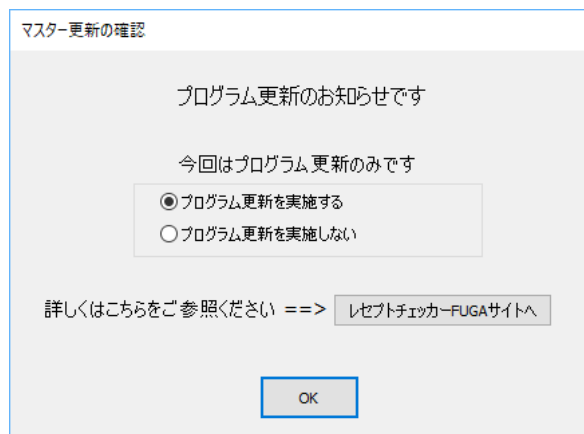
「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は、左下図のように表示されますので、選択することができます。プログラム更新のみの場合は、左下図のように表示されます。

マスター更新（診療行為や医薬品追加）のみの場合は、「マスター更新の確認」画面は表示されず、自動的に更新されます。

【プログラム更新とマスター更新の場合】

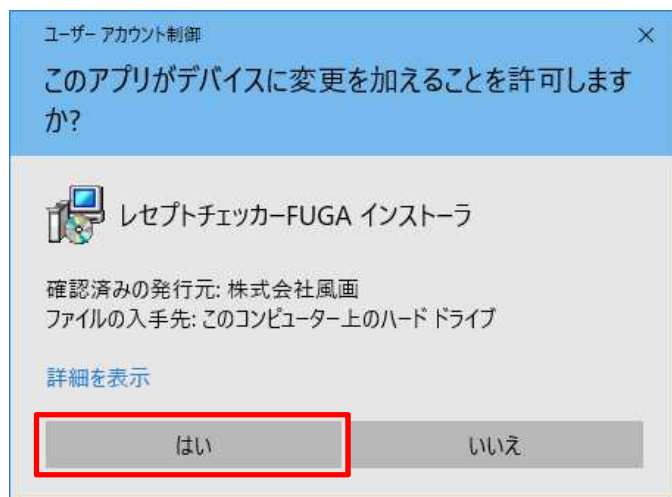


【プログラム更新のみの場合】




「システム Ver. 1. 2. 0(build:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム (Setup. exe) をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

(1) 4月17日に医薬品が追加されています。

詳しくは、下記サイト「マスター更新内容」をご参照ください。

<https://receipt-checker.jp/mn-s68/>

(2) 平成30年度診療報酬改定に伴い、日医標準レセプト以外の医事会計システムから出力されたレセプト電算ファイルでも、50音順に表示できるようになりました。

※カタカナ（氏名）の記録は任意事項なので、対応した医事会計システムに限ります。

レセプトチェック

レセ電ファイル取込 シンプルモード 件

診療年月	審査	合計点	最終取込日時

カルテ番号:

患者氏名:

患者氏名50音順に表示 分割チェック

患者保険者番号順に表示

閉じる 検索

(3) ヘリコバクター・ピロリ関連のチェックデータを修正し、複数病名チェック対象としました。

【対象検査】

- 160172450 ヘリコバクター・ピロリ抗体定性・半定量
- 160172550 ヘリコバクター・ピロリ抗体
- 160172750 迅速ウレアーゼ試験定性
- 160172850 UBT
- 160175450 ヘリコバクター・ピロリ抗原定性

【チェックデータ】

グループ1

胃潰瘍,十二指腸潰瘍,胃MALTリンパ腫,特発性血小板減少性紫斑病,早期胃癌,胃炎,ヘリコバクター・ピロリ胃炎

グループ2

ピロリ

(4) ALK関連の検査を修正しました。

160200750 ALK融合遺伝子標本作製

修正前チェックデータ：肺がん、肺ガン、肺癌

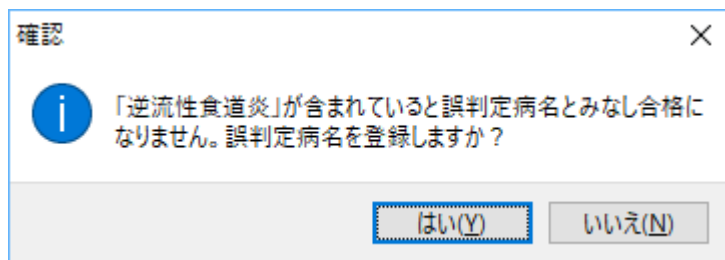
修正後チェックデータ：ALK

160204850 ALK融合タンパク

修正前チェックデータ：非小細胞肺癌、非小細胞肺がん、非小細胞肺ガン

修正後チェックデータ：ALK融合遺伝子陽性非小細胞肺癌

- (5) レセプトチェック後、「詳細」画面から展開される「適応症修正」画面で、Hit病名をダブルクリックすると「誤判定病名登録」の文字列にセットされるので、誤って「誤判定病名」を登録することがないように、確認メッセージに詳しく内容を表示するようにしました。



3. 不具合対応

(1) 特にありません。